

和光大学 連続市民講座2016

# 秋の夜長に「アジア」の歴史を学ぶ

10/20 thu 10/27 thu 11/10 thu 11/24 thu 全4回

会場 和光大学ポプリホール鶴川 3F 多目的室  
(小田急線鶴川駅北口 徒歩3分)

和光大学 [www.wako.ac.jp](http://www.wako.ac.jp)

1 10 / 20 (木)  
18:30 ~ 20:30

アジアはなぜアジアと  
呼ばれるのか?



松枝 到

[ 芸術学科 教授 ]

2 10 / 27 (木)  
18:30 ~ 20:30

世界の歴史と中央アジア



坂井 弘紀

[ 総合文化学科 教授 ]

3 11 / 10 (木)  
18:30 ~ 20:30

近代日本の米消費とアジア



奥 須磨子

[ 経済学科 教授 ]

4 11 / 24 (木)  
18:30 ~ 20:30

東南アジア近代と華人企業



鈴木 岩行

[ 経営学科 教授 ]

# 1 アジアはなぜアジアと呼ばれるのか？

今日わたしたちが親しんでいる「アジア」という呼称はどこから来たのか？それは歴史的・地理的・思想的背景をもっていきます。古代ギリシアではすでに「アジア」という呼び名がありますが、それは「ヨーロッパ」と「アフリカ」に対峙する東の広大な空間であり、その名称はさらに時代にさかのぼり、古代オリエントにまで広がります。このヨーロッパの持つ「東」の感覚は、ルネサンスにも残りますが、アジア自身がみずから「アジア」と呼ばれていることを知るの、はるかにのちの時代だったのです。この名称の歩みを、さまざまな資料から読み解いていきましょう。

松枝 到（まつえだいたる） [芸術学科 教授]

専門は文化史・文化理論。さまざまな文化現象を哲学・歴史・芸術などの側面から分析し、人間の想像力＝イメージを生み出す力を考える。著書に『アジア言遊記』（大修館書店）、『密語のゆくえ』（岩波書店）など。

# 3 近代日本の米消費とアジア

米余りと言われる現在。「瑞穂の国」の美称とあいまって、これまで日本列島で暮らしてきた人々はそこで作られた米をもっぱら食してきたと、つい思ってしまいがちではないでしょうか。しかし、近代以降に関して言えば、1900年前後から1960年代半ばまで、日本は恒常的な米の輸移入国であったことも事実です。日本で不足する米はどこから調達され、どのように消費されたのでしょうか。日本列島内の生産では需要を満たせない状況が深刻化した第一次大戦前後を中心に、日本の米消費を通じた台湾・朝鮮半島や東南アジア諸地域との関係をあらためて一緒に振り返りたいと考えています。

奥 須磨子（おく すまこ） [経済学科 教授]

専門は日本近代経済史。都市への人口集積を軸にした日本近代の再考を研究テーマにしている。とりわけ、のちに新興市街地となっていく近郊農村地域における生産と消費の変容に関心を寄せている。編著に『都市と娯楽』（日本経済評論社、2004年）など。

# 2 世界の歴史と中央アジア

中央アジアは、アジアとヨーロッパを結び、世界の歴史をつくってきました。騎馬民は草原を駆け巡り、オアシスの隊商はさまざまな商品や文化を広げました。中央アジアの国々が世界の各地をつないでできたのです。そして今や地球と宇宙をつなぐ地でもあります。中央アジアを知らなくては、世界の歴史はわかりません。けれども、日本ではこの地について、まだまだ知られていません。日本との意外な関係にも触れながら、世界史の「主役」中央アジアについて学びませんか。



(フハラの風景)

坂井 弘紀（さかいひろき） [総合文化学科 教授]

専門は中央アジア文化史、テュルク英雄叙事詩研究。中央ユーラシアのテュルク系諸民族に伝わる口承文芸（英雄叙事詩や神話、伝説）を中心に、彼らの文化や歴史について幅広く研究している。著書に『中央アジアの英雄叙事詩』（東洋書店）など。

# 4 東南アジア近代と華人企業

東南アジア諸国には3000万人以上の華人がいます。マレーシアでは人口の25%が、シンガポールではなんと75%が華人です。インドネシアでは人口比は3%ほどですが、華人口は東南アジアで最多です。また、東南アジア諸国の経済の実権は華人が握っているといわれています。なぜ東南アジア諸国に多くの華人がいて、強い経済力を持っているのでしょうか。それは東南アジアの近代史と関係があります。本講座では近代史から現在の東南アジアの経済状況を見ていきます。



(ホイアンの華僑会館)

鈴木 岩行（すずき いわゆき） [経営学科 教授]

専門は経営学（企業論）。研究内容は、アジアにおける日本企業、現地企業および（日本以外の）外資系企業の経営状況比較。共著に『インドネシアとベトナムにおける人材育成の研究』（八千代出版、2010年）など。

※内容は変更となる場合がございます。

会場 和光大学ポリホール鶴川 3F 多目的室 (小田急線鶴川駅北口 徒歩3分)

受講料 各回500円 (※学生無料)

定員 各回50名 (※先着順)

## 申込方法

ハガキ、FAX、Eメールで「連続市民講座2016 アジアの歴史」と明記し、①氏名(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④参加する回(第○回、全4回など)をご記入の上、「和光大学企画広報係 大学開放フォーラム」までお送りください。なお、各回の開催日1週間前までにお申込みください。 ※お電話でのお申込みはご遠慮ください。

## お問い合わせ・お申込み

### 和光大学 企画広報係 大学開放フォーラム

〒195-8585 東京都町田市金井町 2160

Tel 044-988-1433 Mail open@wako.ac.jp  
Fax 044-988-1594 URL www.wako.ac.jp/

